

物性研究所短期研究会「新物質開発・システム創成研究の最前線：分子・クラスターがもたらす物性と機能」

10月2日（水）	名前（敬称略）	講演タイトル
13:00	岡本 佳比古	はじめに、諸連絡
13:05	廣井 善二	所長挨拶
セッション1	25分x3	
13:10	山本 浩史	キラル物質によるスピン偏極制御
13:35	塚 広樹	極性有機伝導体
14:00	白旗 崇	テトラシアベンタレン系分子性導体の新展開
14:25-14:45	休憩	
セッション2	25分x5	
14:45	谷口 耕治	イオン挿入制御を介した有機・無機ハイブリッド化合物のスピン物性開拓
15:10	石川 孟	磁気電気二重ハイパーオクタゴンMOF
15:35	堀井 洋司	分子をもとにした磁気・電子・運動機能材料の構築
16:00-16:20	休憩	
セッション3	25分x4	
16:20	西内 智彦	嵩高い芳香環を密集させた π クラスターの創出と機能探索
16:45	芥川 智行	分子集合体ダイナミクスを利用した機能性材料の創製
17:10	竹原 陵介	有機物質における分子ダイナミクスと熱輸送の相関
17:35	出倉 駿	有機スルホン酸塩における結晶中分子運動と無水プロトン伝導
10月3日（木）	名前（敬称略）	講演タイトル
セッション4	25分x3	
9:30	宮島 大吾	平面性非芳香族性化合物の可能性
9:55	井口 弘章	分子性導体を基盤としたナノ多孔体の開発
10:20	湊 拓生	異種金属多核構造の精密逐次合成と磁気特性制御
10:45-11:05	休憩	
セッション5	25分x3	
11:05	坂本 良太	分子低次元系の新展開
11:30	宮田 耕充	遷移金属カルコゲナイドの構造制御と機能
11:55	加藤 俊顕	ヤヌス原子層材料の創成と応用
12:20-13:20	昼食休憩	
13:20-14:40	ポスター講演	
14:40-14:45	休憩	
セッション6	25分x3	
14:45	焼山 佑美	曲面 π 共役分子を基盤とした誘電応答性材料開発
15:10	草田 康平	多元素ナノ物質開発とその触媒応用
15:35	安藤 吉勇	合成未踏天然物への挑戦を契機とする新規物質変換法の開発
16:00-16:20	休憩	
セッション7	25分x3	
16:20	阿波賀 邦夫	固体電気化学プロセスを利用した分子・クラスターの機能開拓
16:45	須田 理行	キラルファンデルワールス超格子の創製とキラル物性の開拓
17:10	瀧宮 和男	高移動度有機半導体への分子科学的アプローチ
17:35	移動	
18:00	懇親会	
10月4日（金）	名前（敬称略）	講演タイトル
セッション8	25分x3	
9:30	嘉部 量太	有機材料中の電荷蓄積と光機能
9:55	草本 哲郎	開殻分子系物質を基とするスピン相関発光機能の創出
10:20	相澤 直矢	励起一重項と三重項のエネルギーが逆転した有機EL材料
10:45-11:05	休憩	
セッション9	25分x3	
11:05	田中 隆行	アザ[n]ヘリセンの系統合成がもたらす物性と機能
11:30	伊澤 誠一郎	分子界面を使った新たな有機光エレクトロニクス
11:55	石井 あゆみ	一次元らせんマテリアルによる新規光デバイス機能
12:20-13:30	昼食休憩	
セッション10	25分x3	
13:30	上田 顕	純有機中性分子を基盤とした新しい分子性導体の開発
13:55	秋山 みどり	多フッ素化キュバンの合成と構造・物性の開拓
14:20	藤野 智子	オリゴマー型伝導体：分子軌道の設計による伝導性制御
14:45-15:05	休憩	
セッション11	25分x3	
15:05	高木 里奈	単一分子性導体における多軌道強相関電子相の解明
15:30	原口 祐哉	クラスターモット絶縁体の量子スピン液体再考
15:55	今城 周作	π -d混成と分子自由度が生むボメラランチュク電子
16:20	おわりに	